

企業における「がん患者」の就業支援に 関する意識及び実態調査

(平成26年3月6日 単純集計)

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会

調査について

【背景】

- 働く世代のがん患者は、全国で約26万人(2008年 国立がん研究センターがん対策情報センター)で、今後増加が見込まれている。
- 国は「がん対策推進基本計画」の中で、
就労を含む社会的問題に取り組むことを明記した。
- しかし、職場内での支援の在り方について、現状分析はほとんどなされていない。

【目的】

- 県内企業の現状(人事担当者の考える理想と現実)を調査し、企業にとって必要な支援対策について明らかにする。

調査について

【方法】

- 今治、松山、大洲の各商工会議所議員事業所に
調査票を郵送で配布、回収
- 無記名 自記式
- 平成26年1月26日～2月21日
- 300事業所に配布 105社から回答 回収率 35%

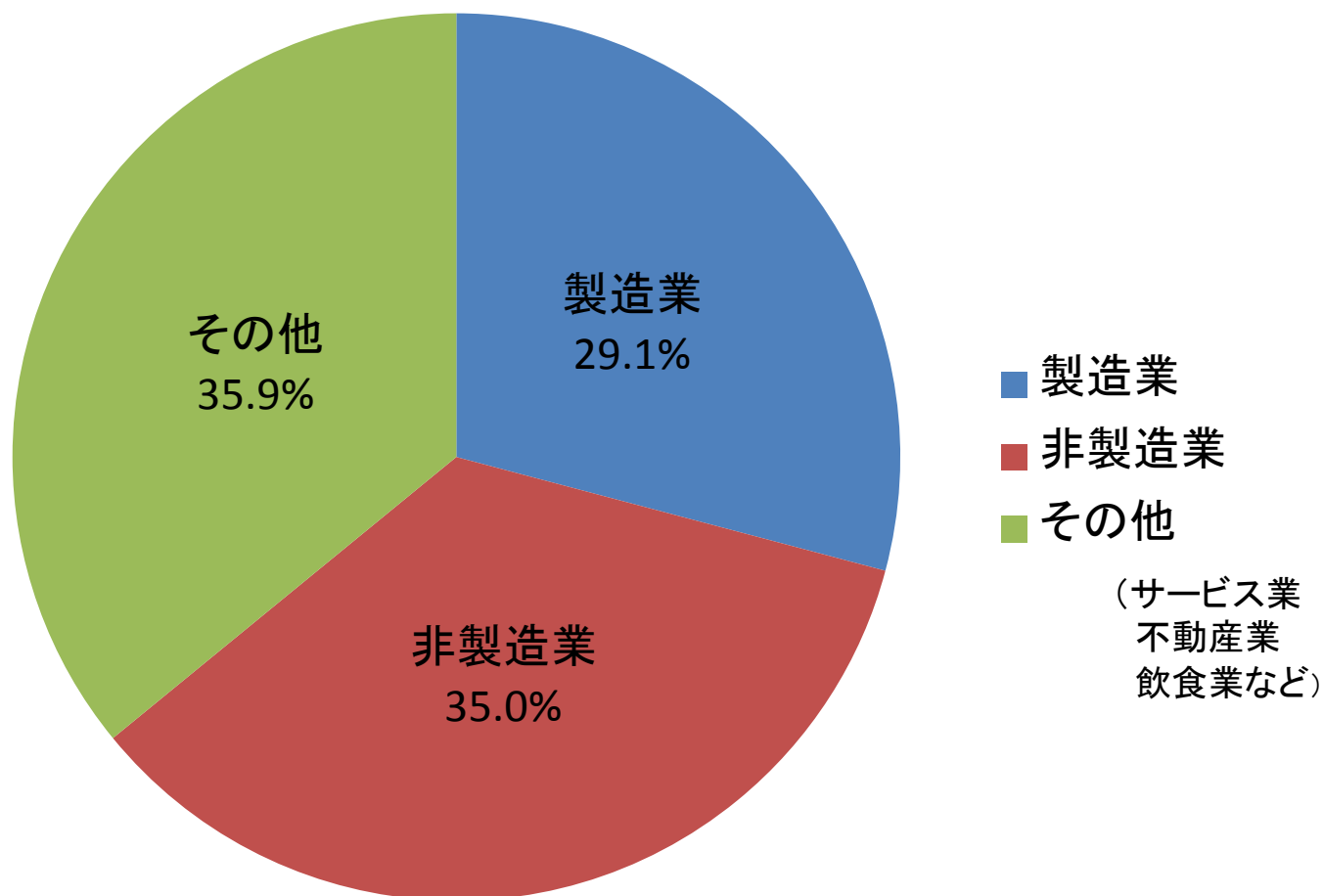
【実施主体】

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会

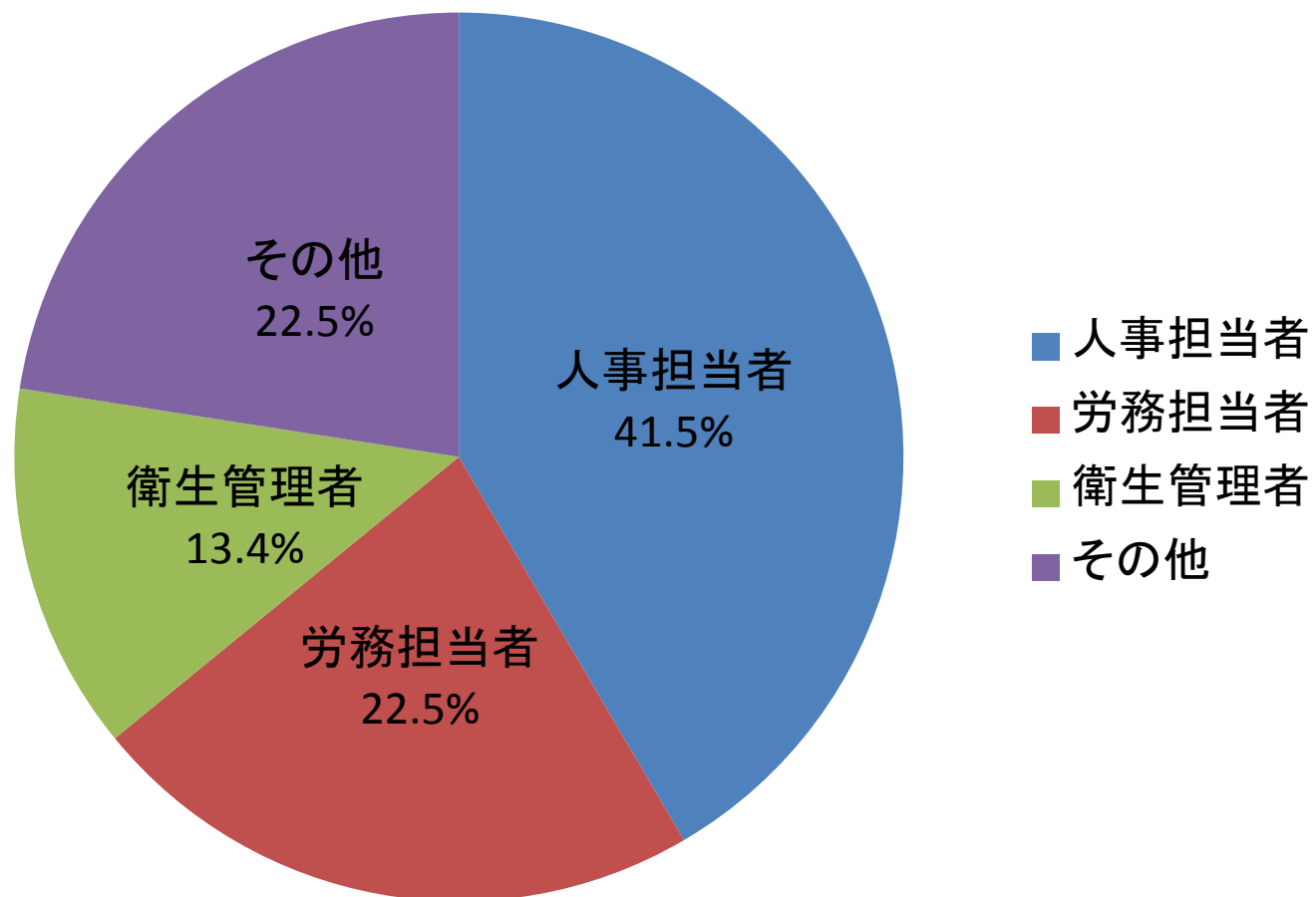
【技術支援】

産業医科大学産業医実務研修センター 講師 立石清一郎氏

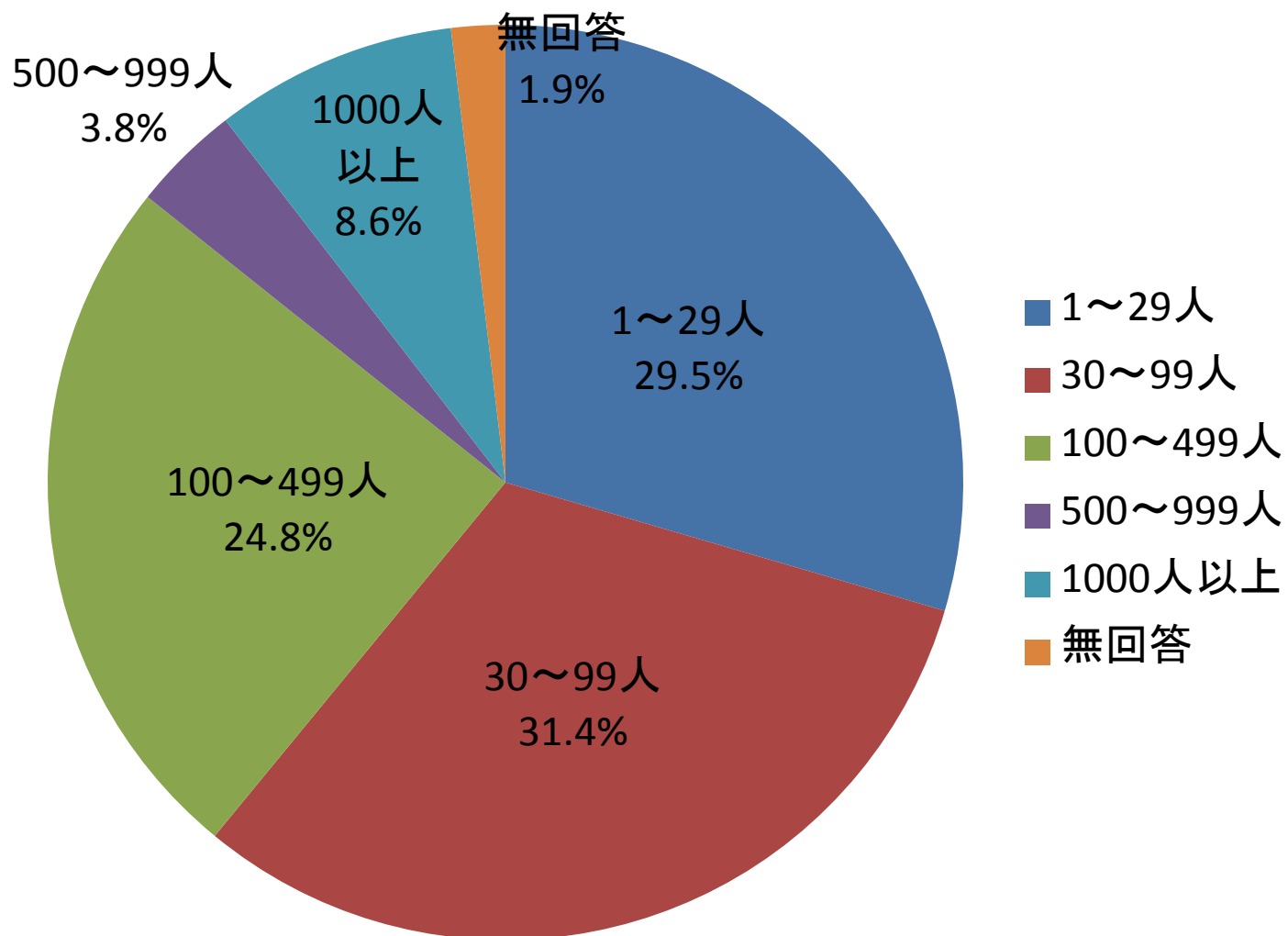
1. 業種について



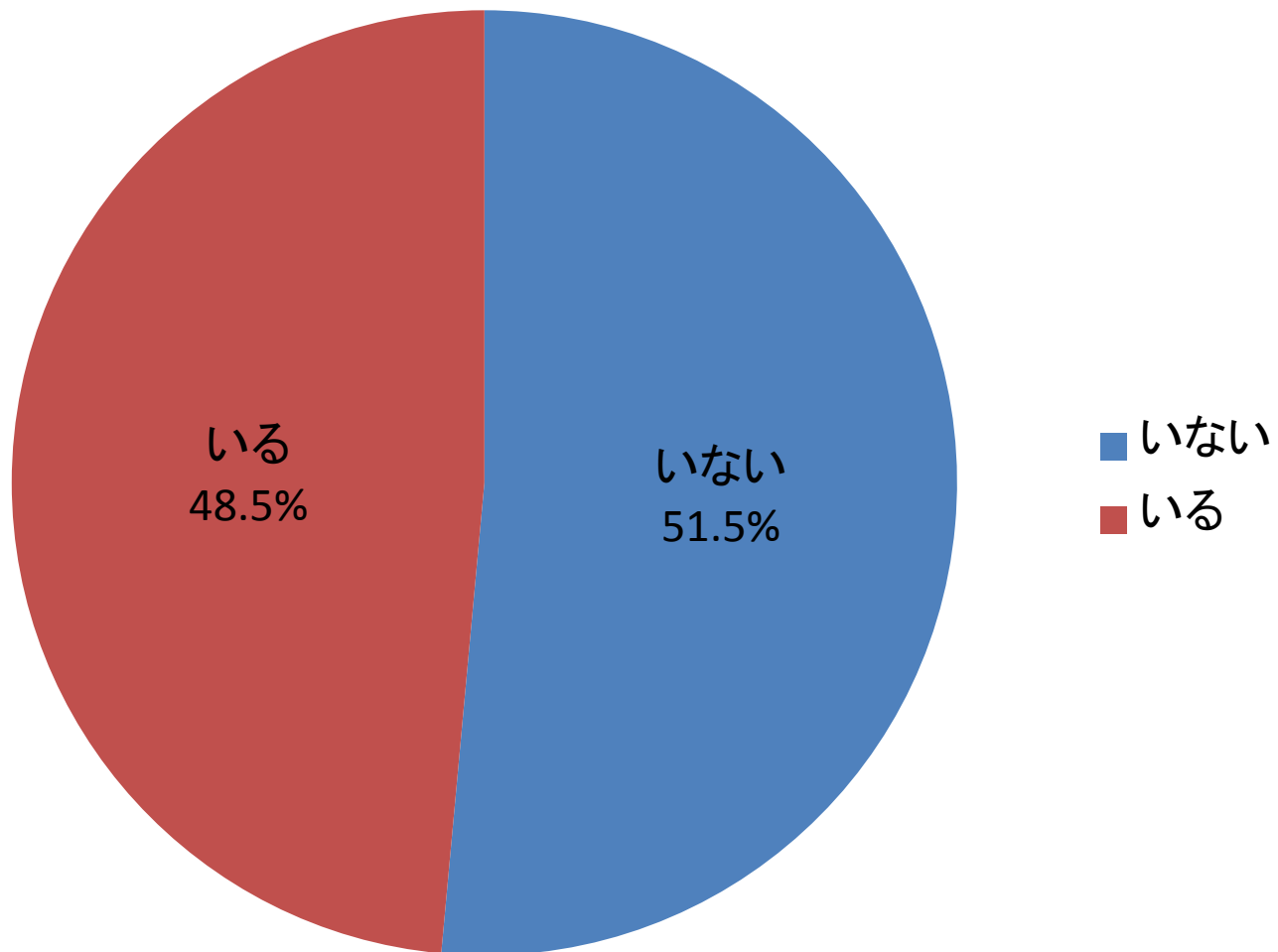
2. 回答者の立場



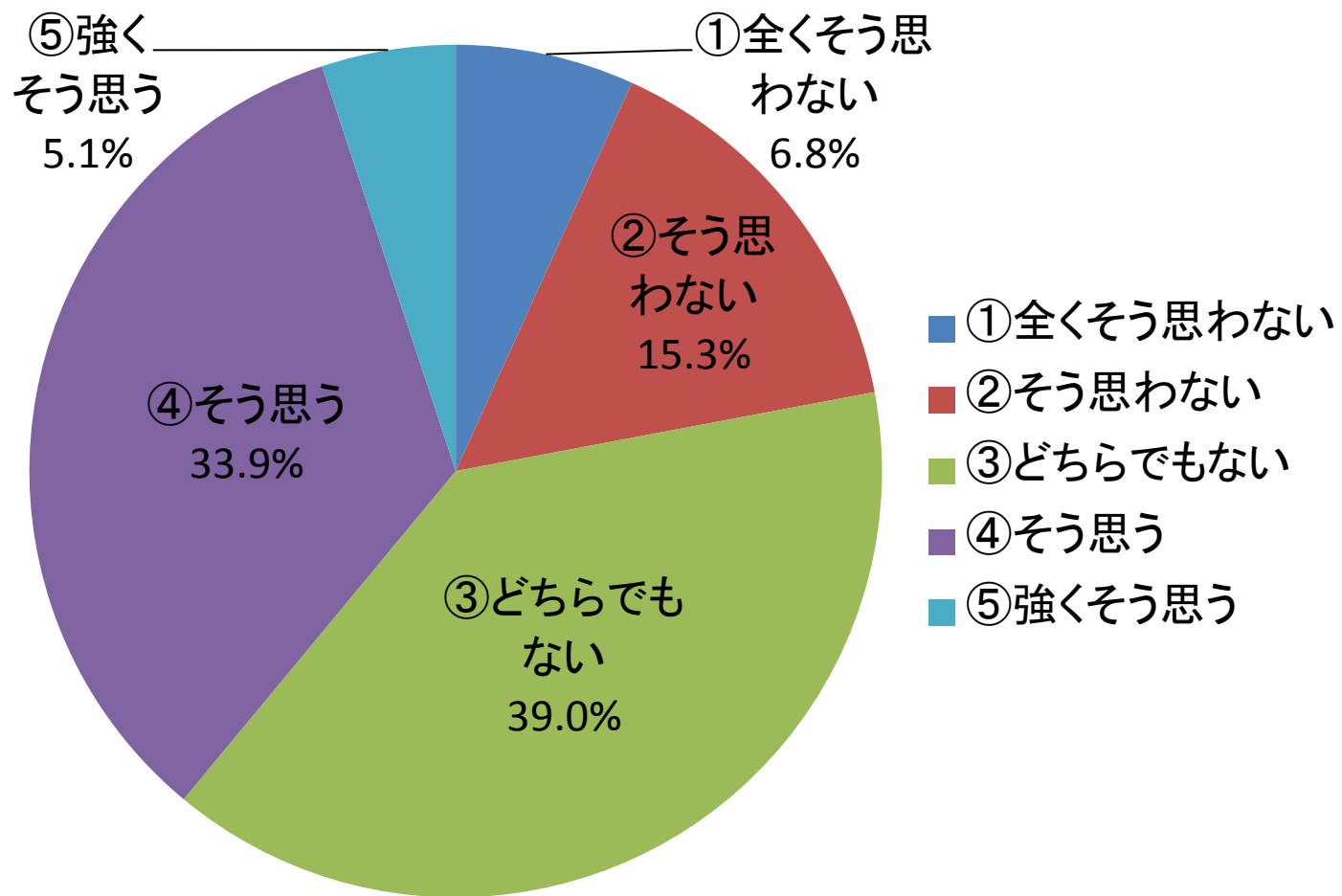
3. 従業員数(すべての雇用形態含む)



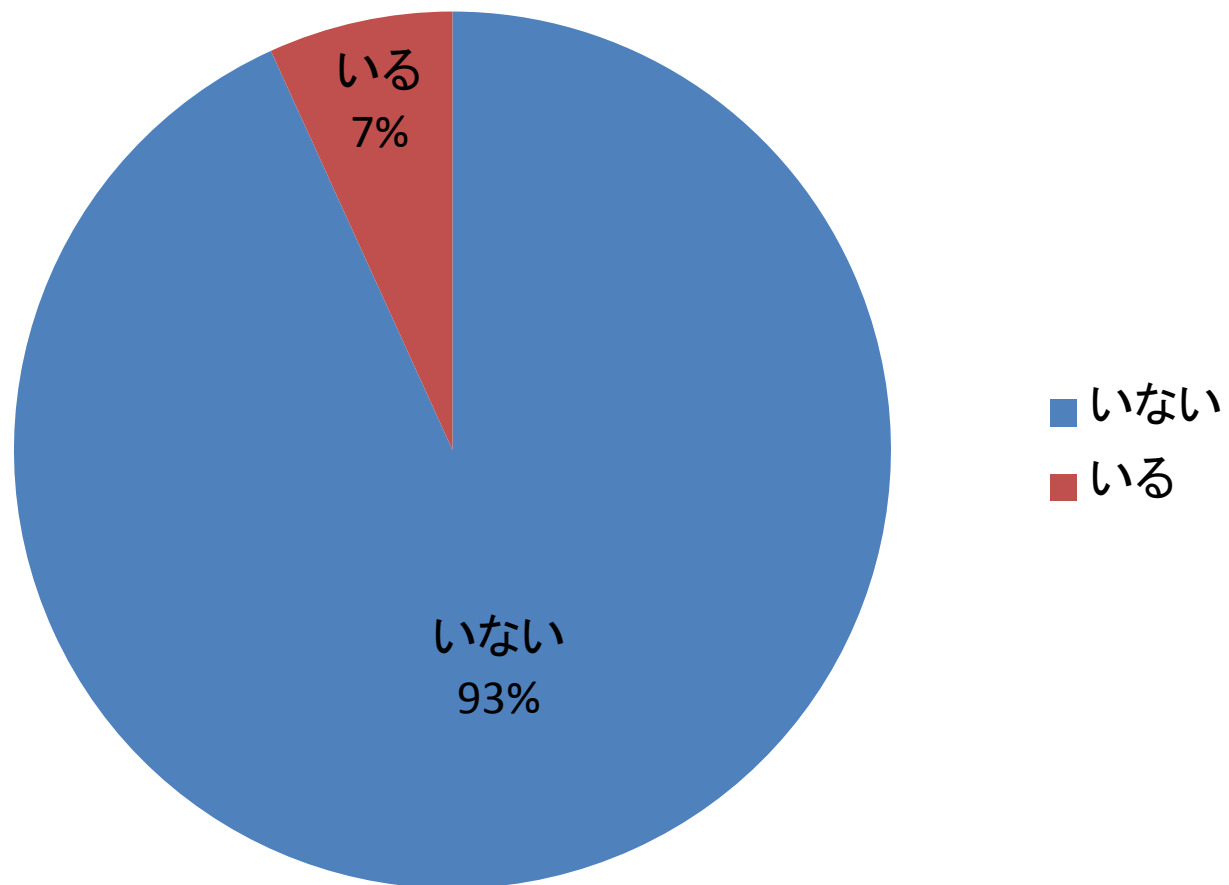
4. 産業医はいますか？



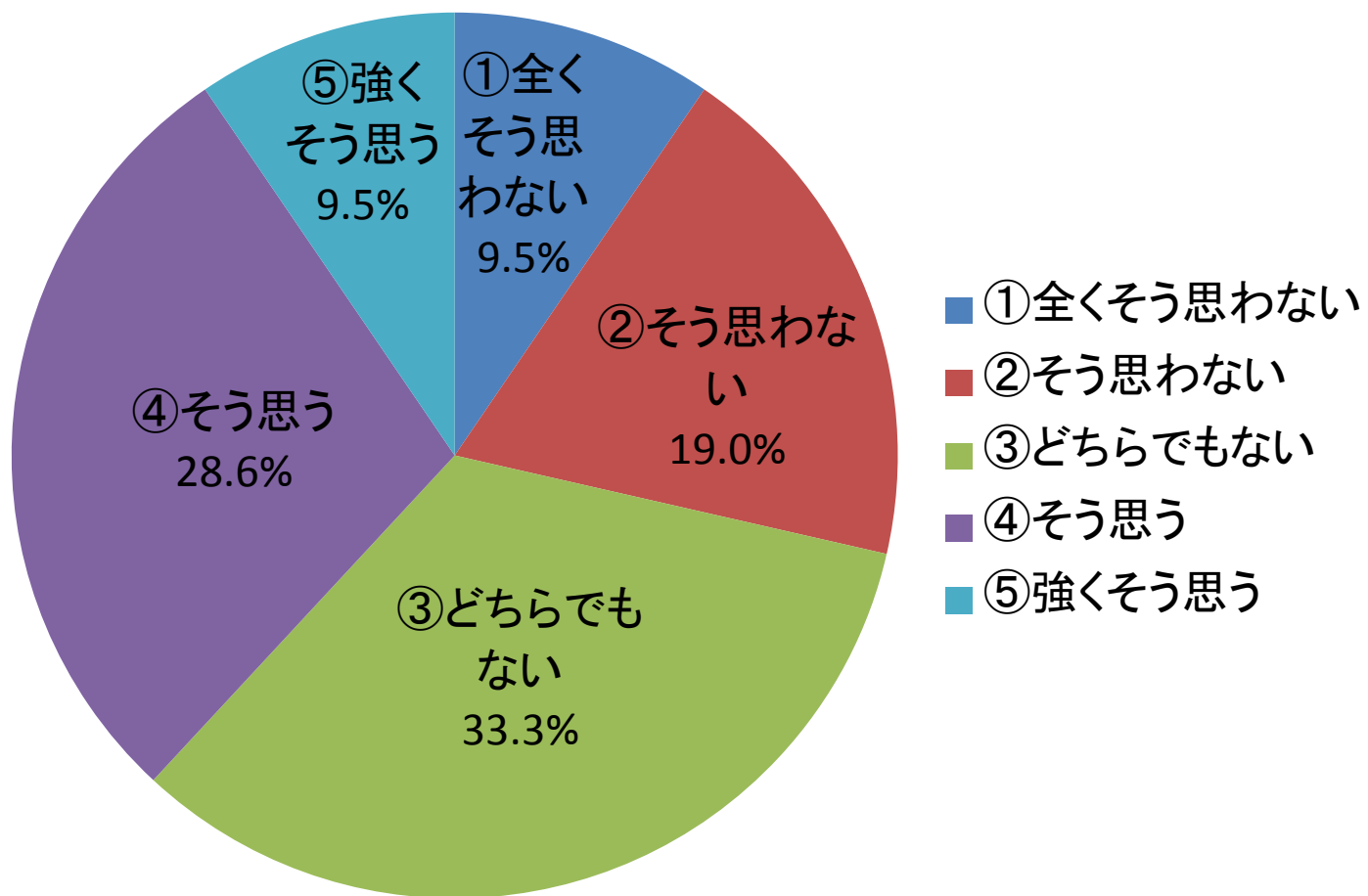
5. 産業医に相談しやすいですか？



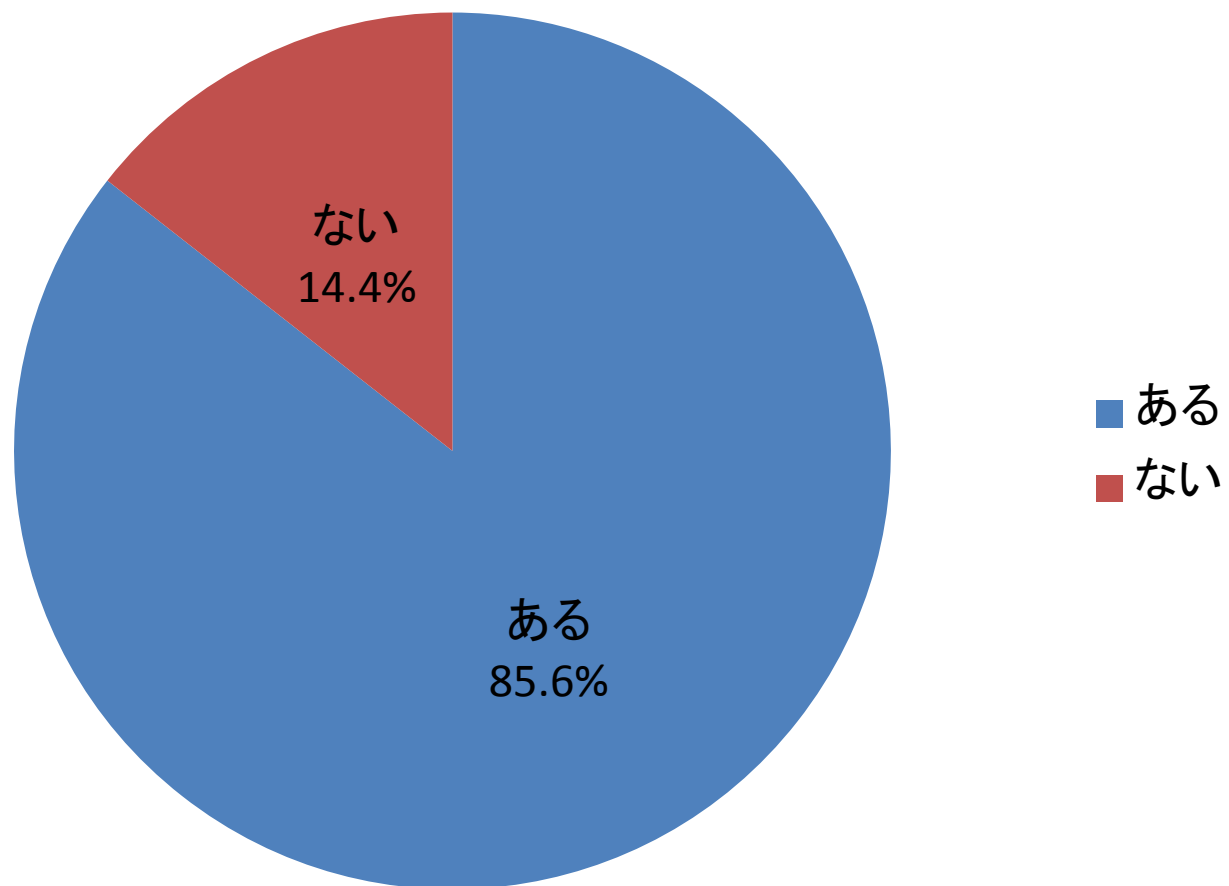
6. 産業看護職（保健師を含む）は いますか？



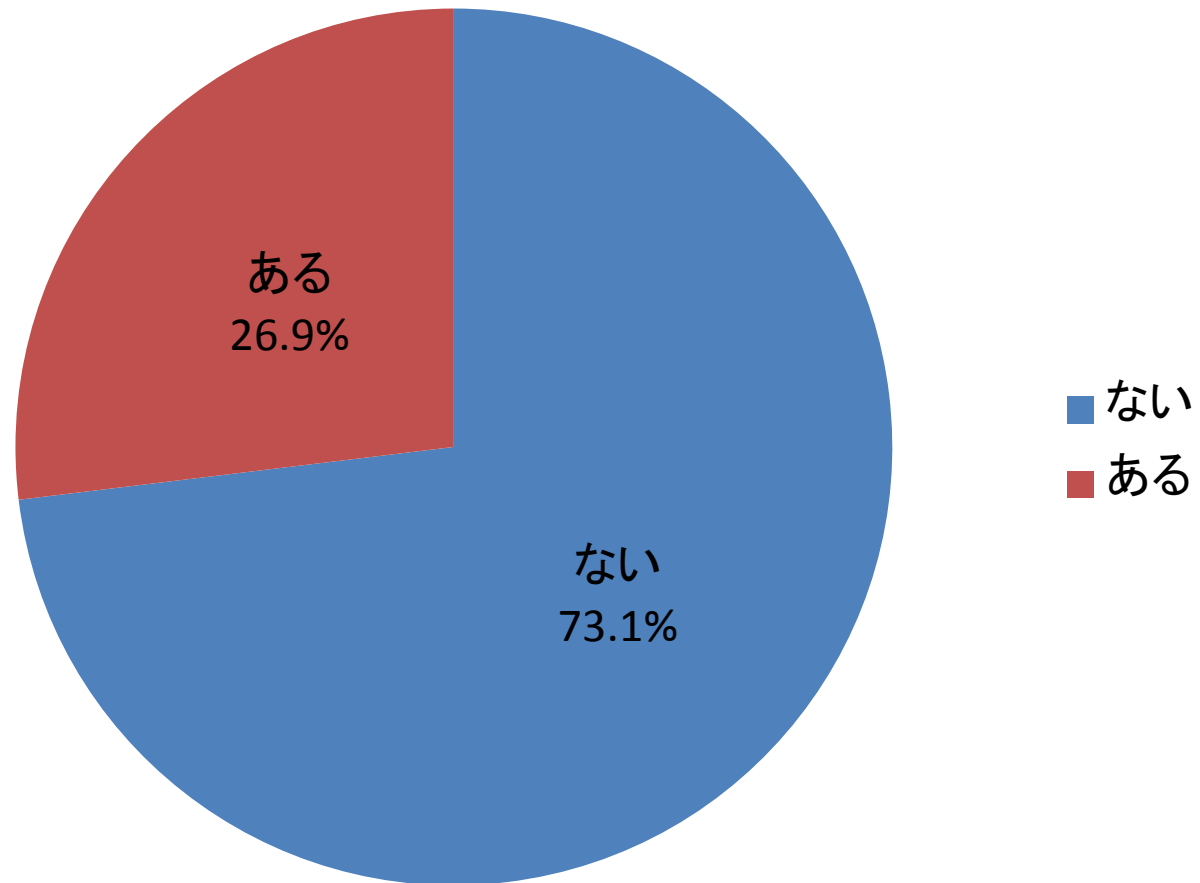
7. 産業看護職に相談しやすいですか？



8. 就業規則に病気休職、欠勤の規定はありますか？



9. 在職中のがん患者の就業支援の経験は？



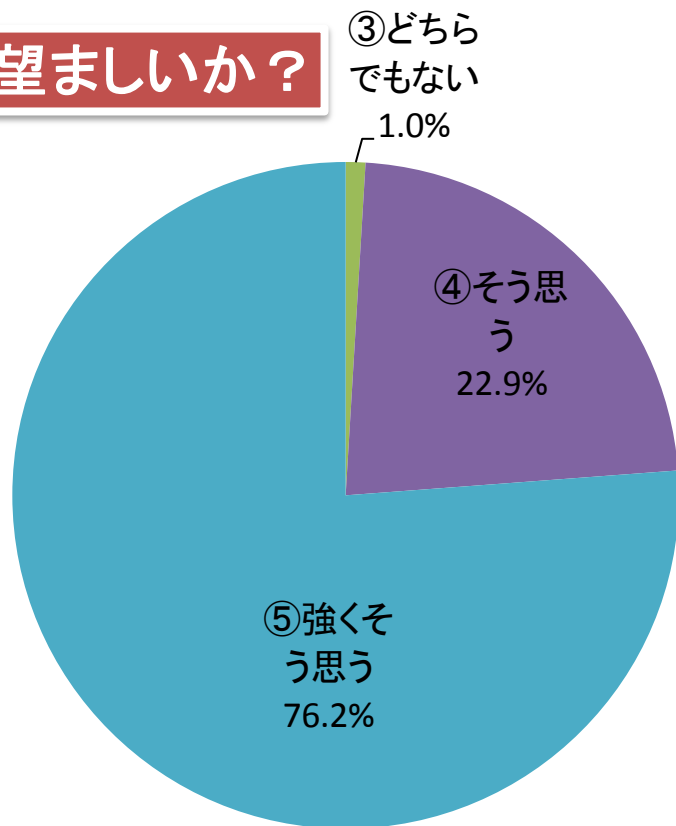
人事担当者が考える理想と現実

【設問の仕方】

- ✓ 1つのテーマについて、理想と現実を尋ねた
 - 理想**...提示した状況が**望ましいと思うか？**
 - 現実**...提示した状況は**実行可能か？**

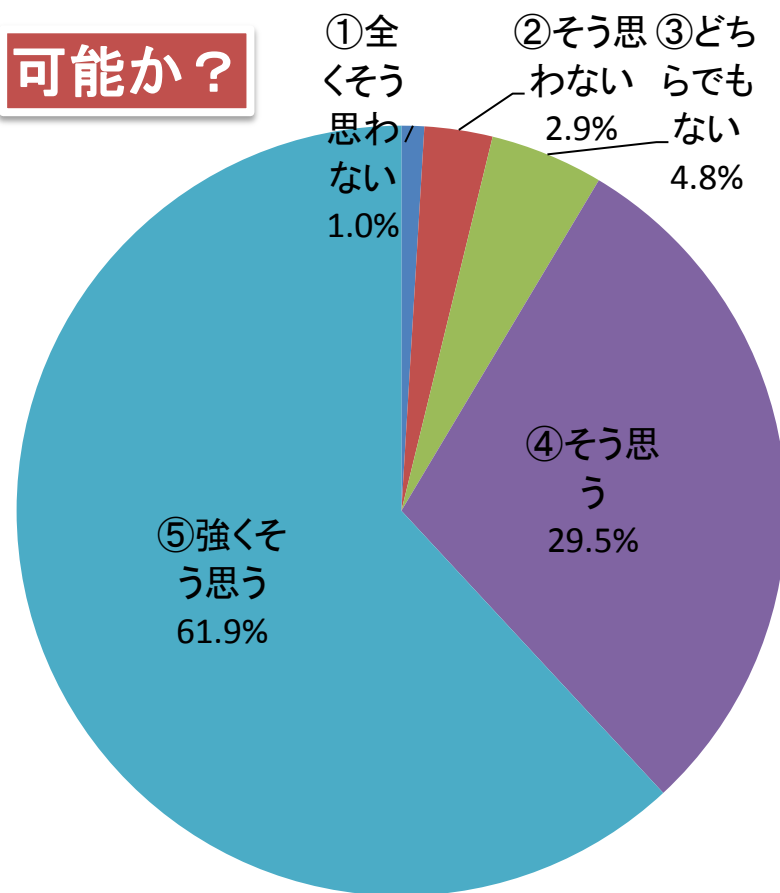
診断のみで解雇や不当な扱いをしない

望ましいか？



- ①全く思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強く思う

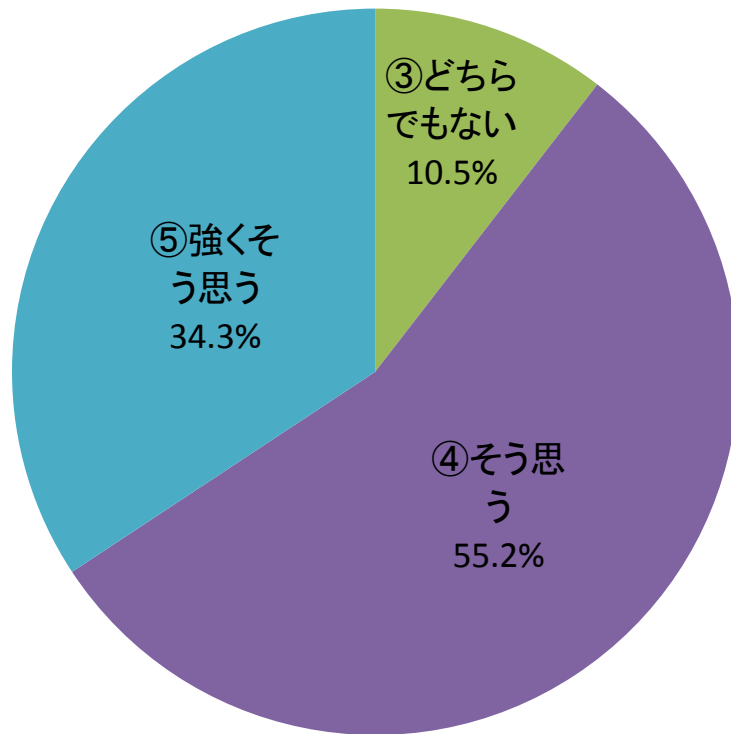
可能か？



- ①全く思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強く思う

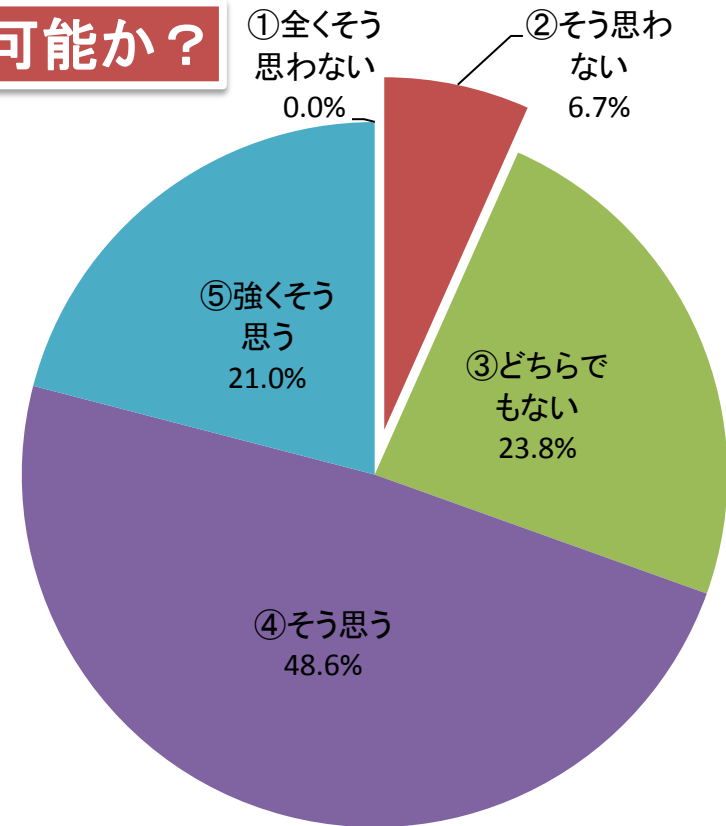
病気の部下のマネージメントについて 管理職教育は必要？

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

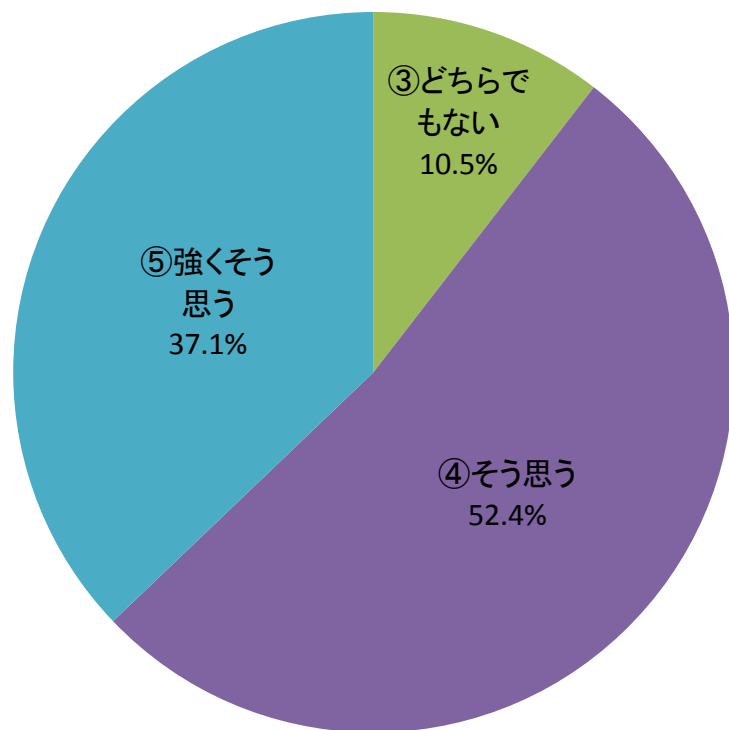
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

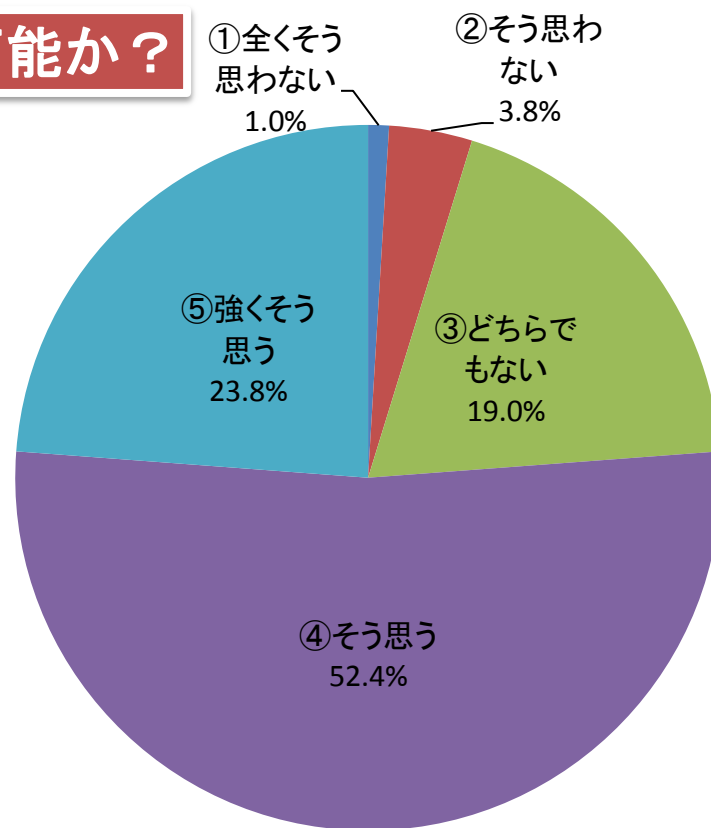
がんにかかったことを言いたしやすいい 雰囲気づくりが職場に必要？

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

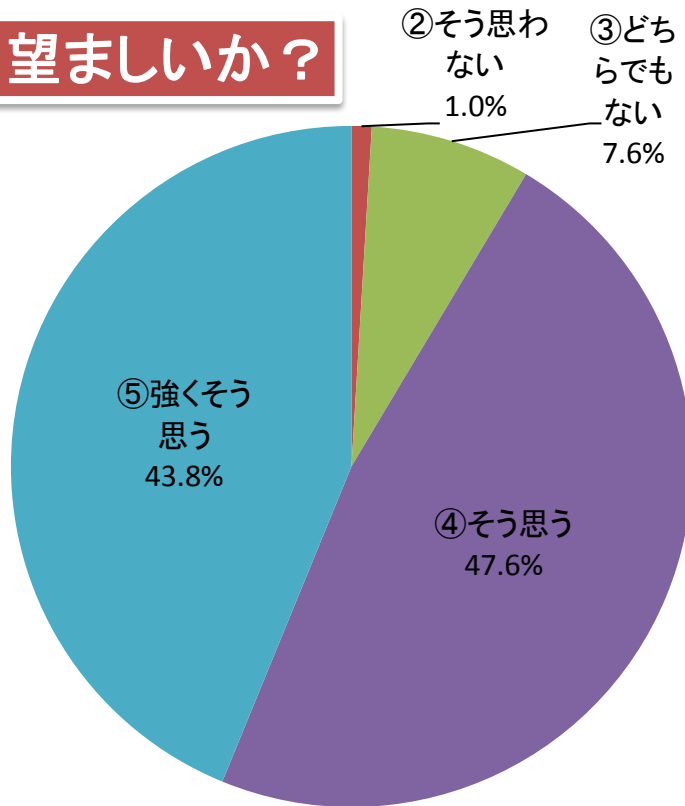
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
| ■ ③どちらでもない | ■ ④そう思う |
- ⑤強くそう思う

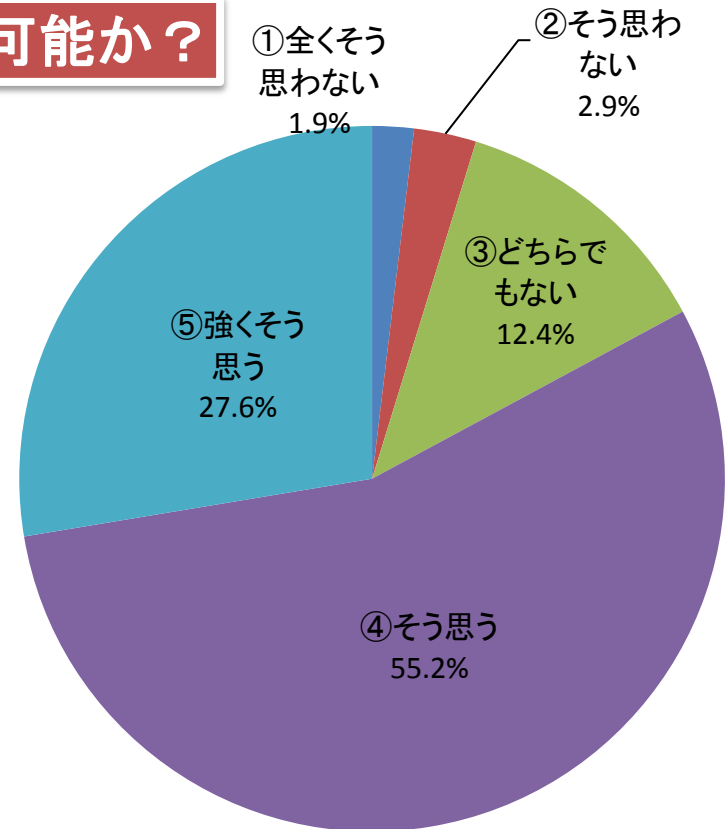
会社側がサポートの姿勢を示すことは？

望ましいか？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

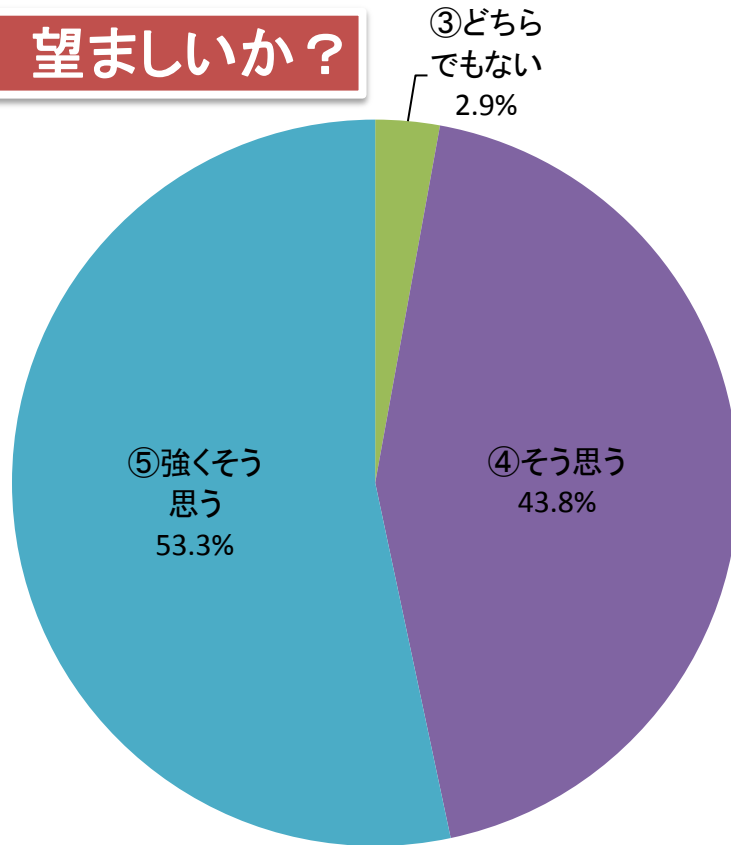
可能か？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

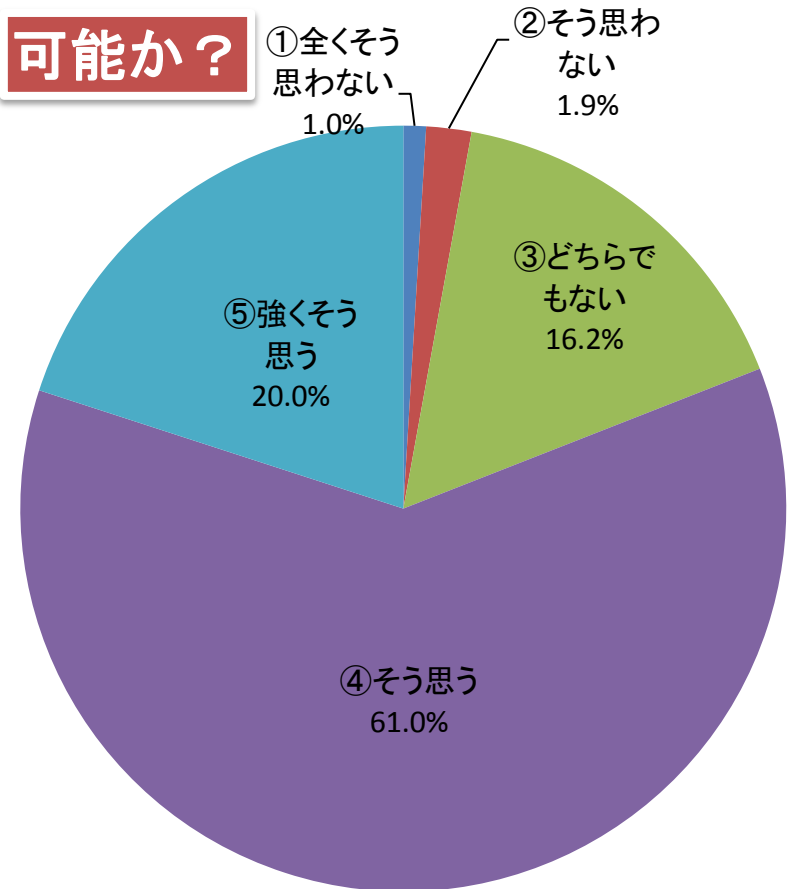
引き継ぎしやすい環境は？

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

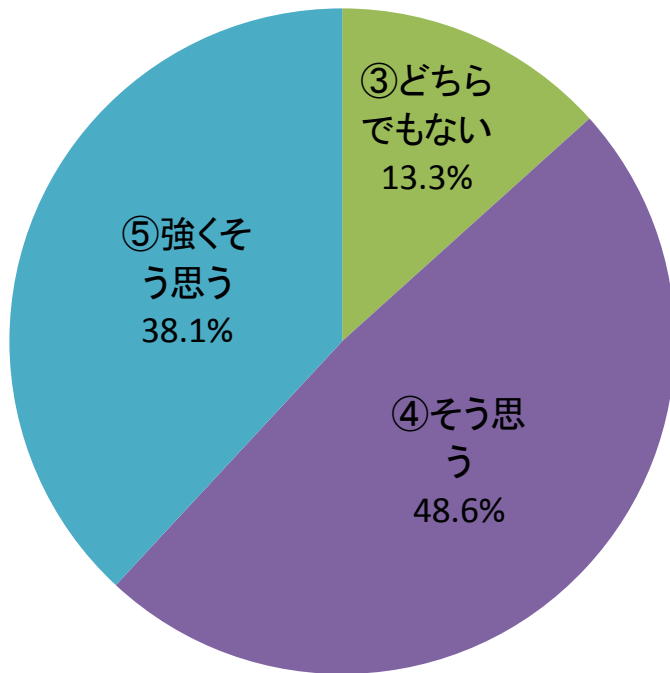
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

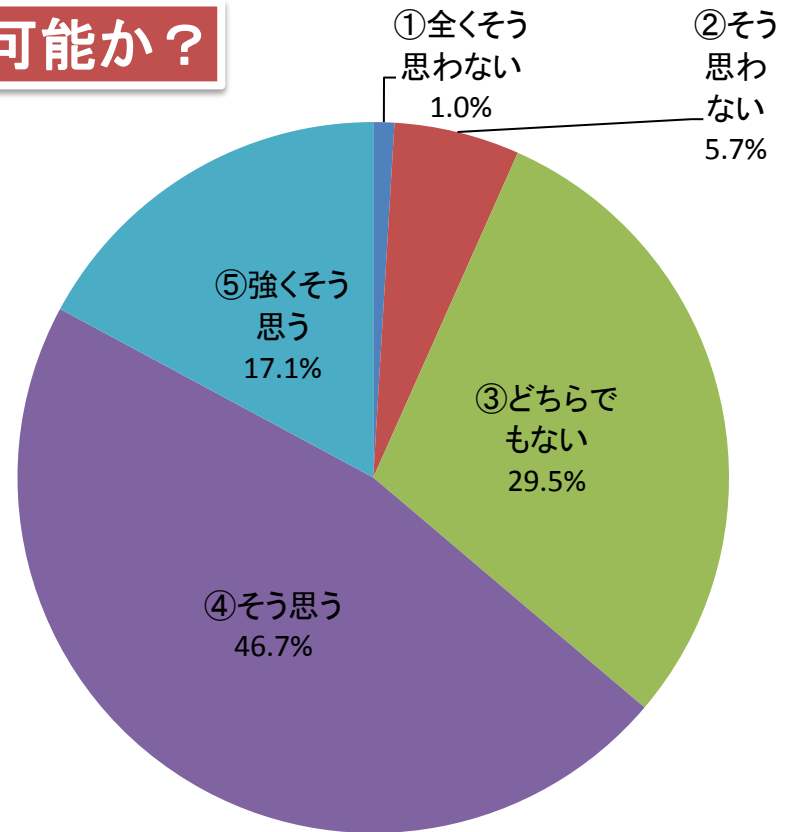
相談先の提示は？

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

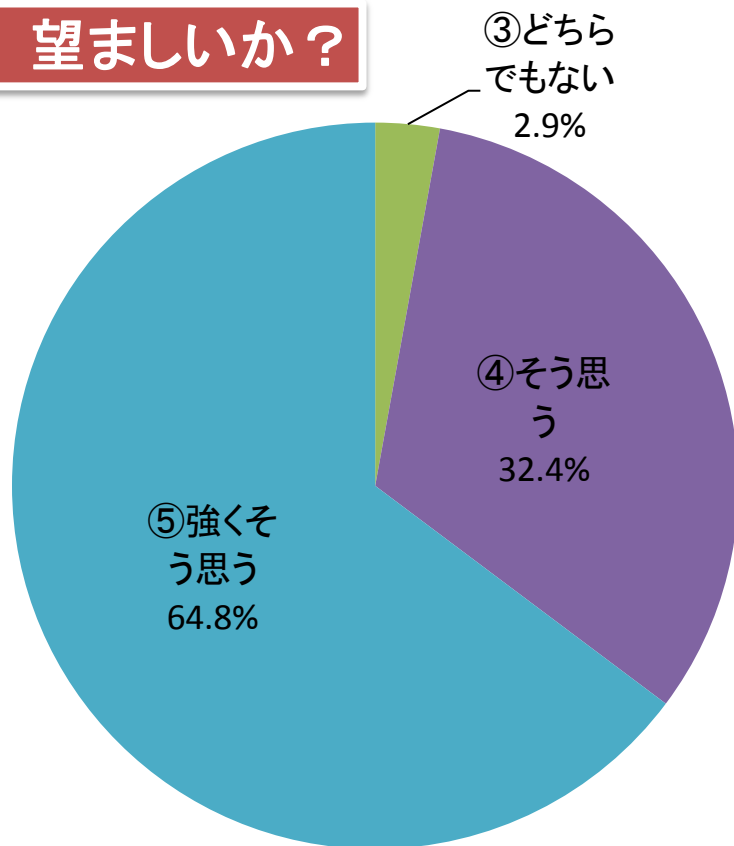
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

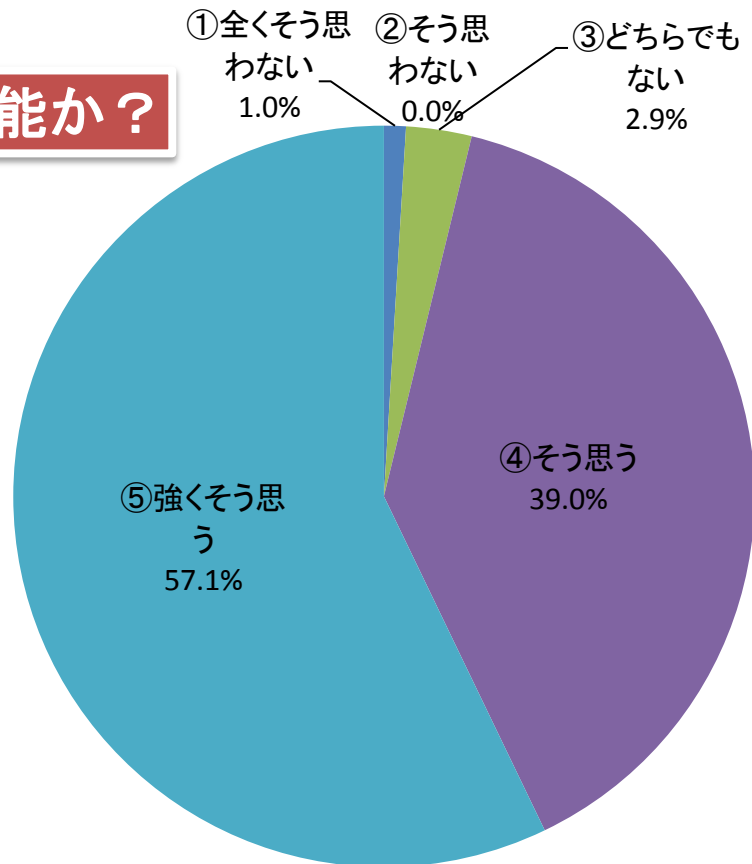
休みが必要な場合、就業規則の説明は？

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強く思う

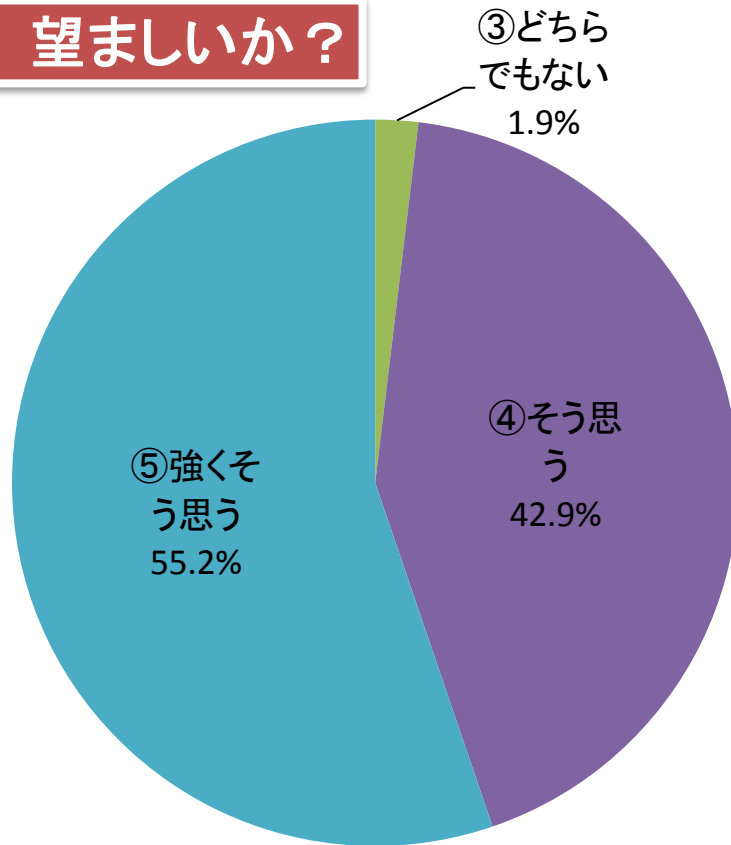
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強く思う

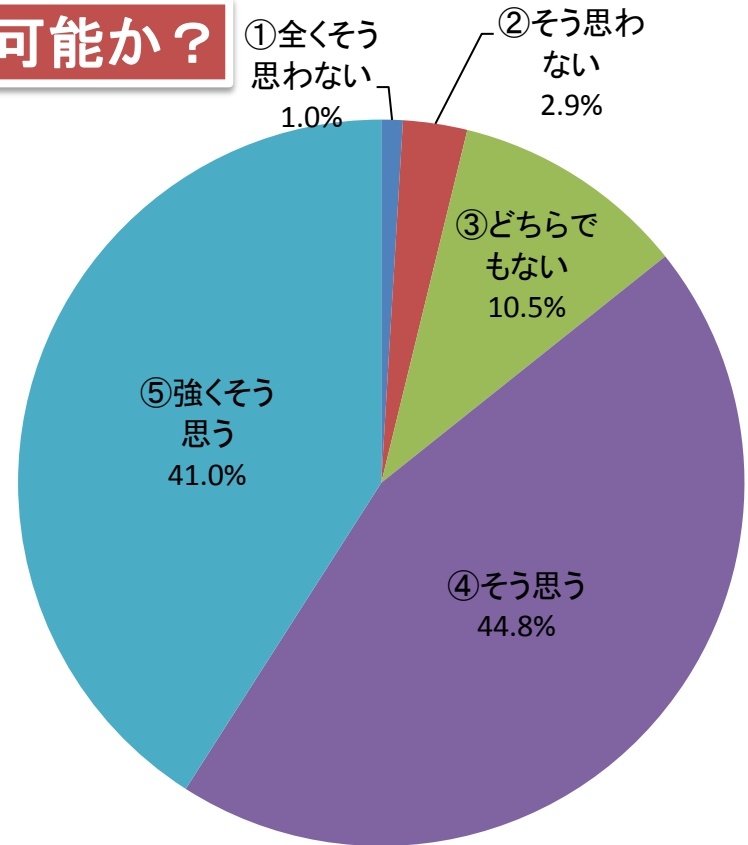
休業する場合、金銭面に関する説明は？

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

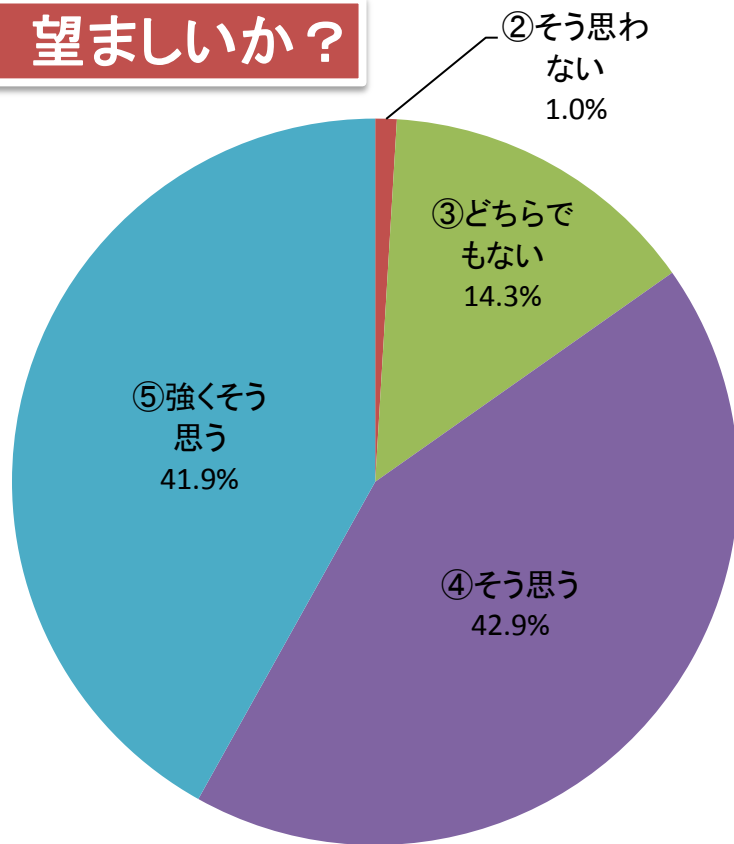
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

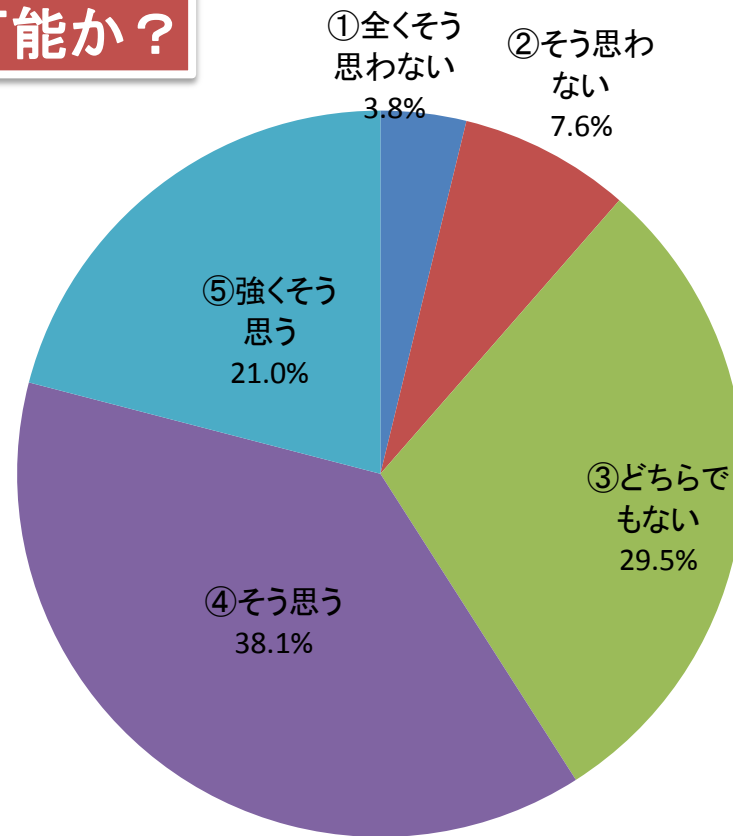
医療職から適切な配慮の内容を聞きだすことは？

望ましいか？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

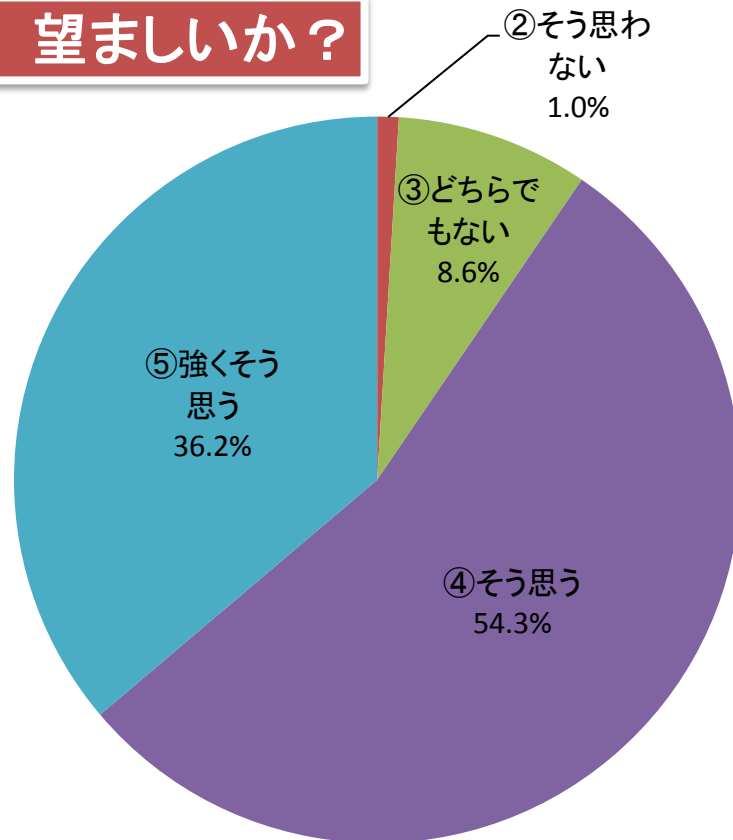
可能か？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

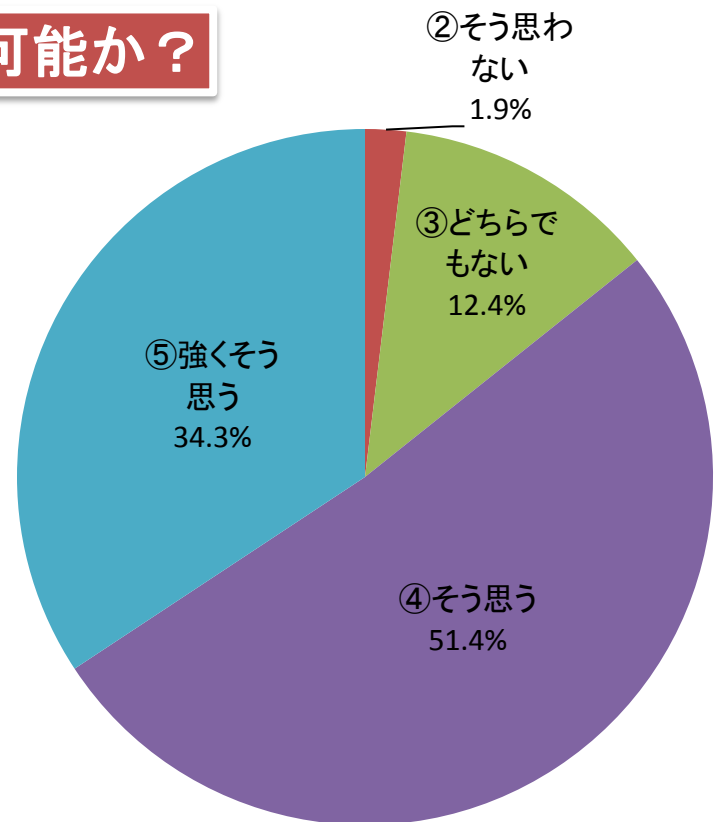
復職時に病名共有の範囲を本人と決める

望ましいか？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

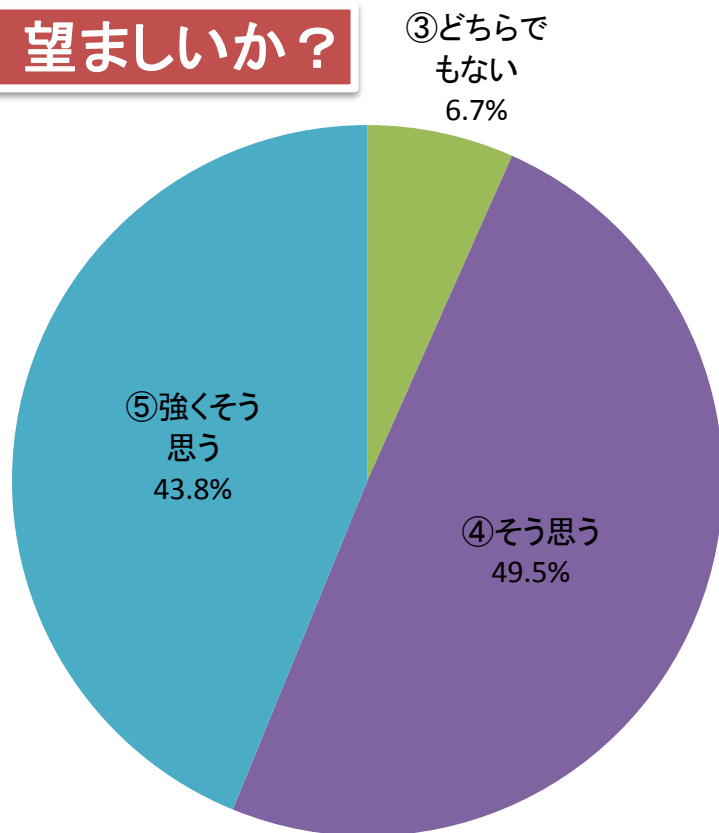
可能か？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

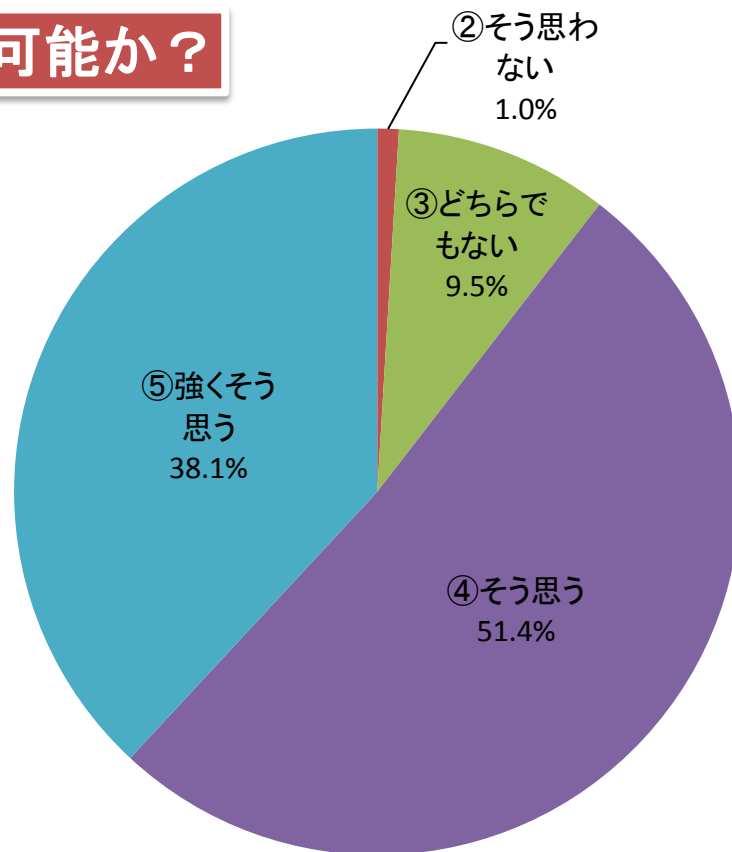
就業配慮の共有の範囲を本人と決める

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

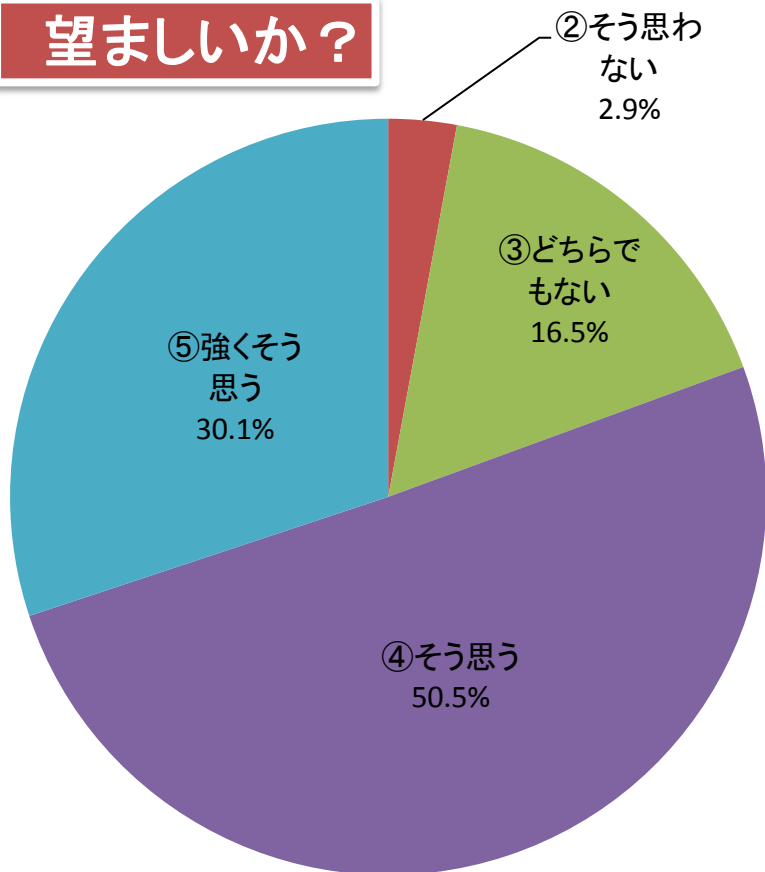
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

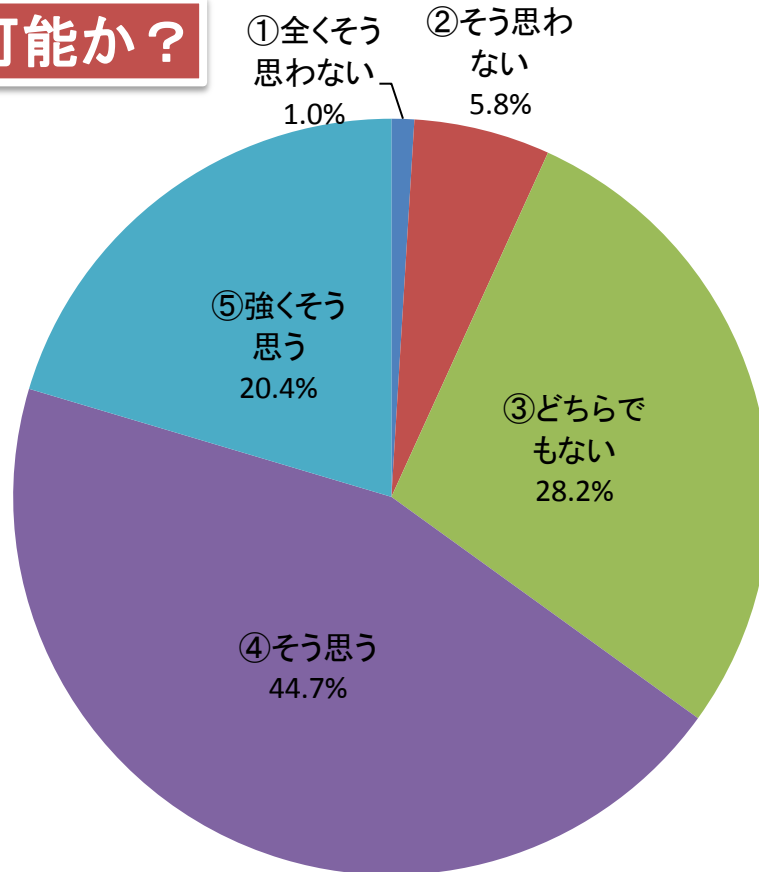
業務に支障があっても、望む配慮を実施

望ましいか？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

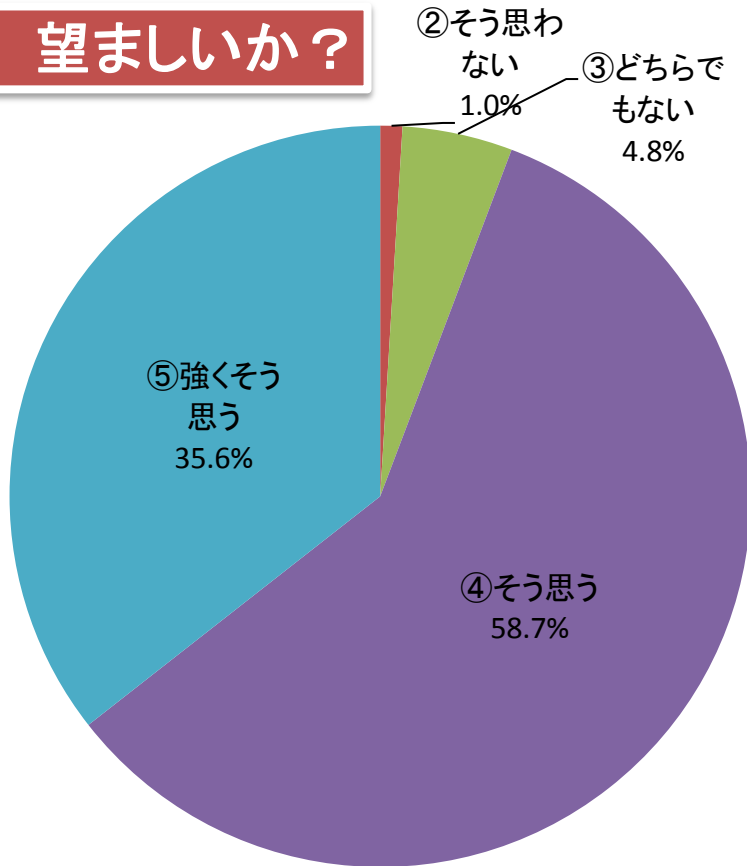
可能か？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

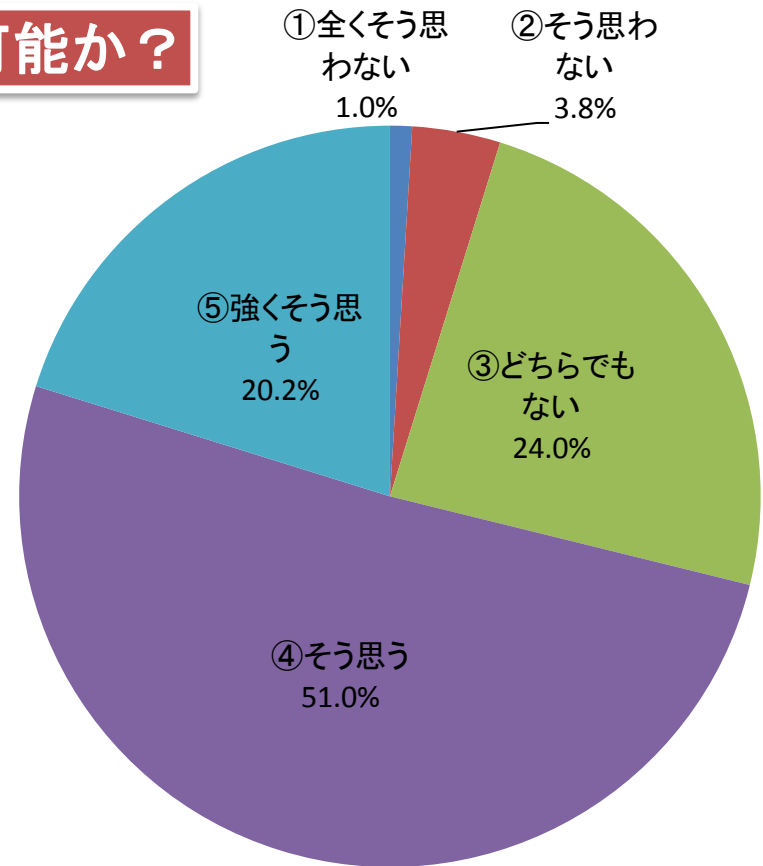
変化する症状にあった対応

望ましいか？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

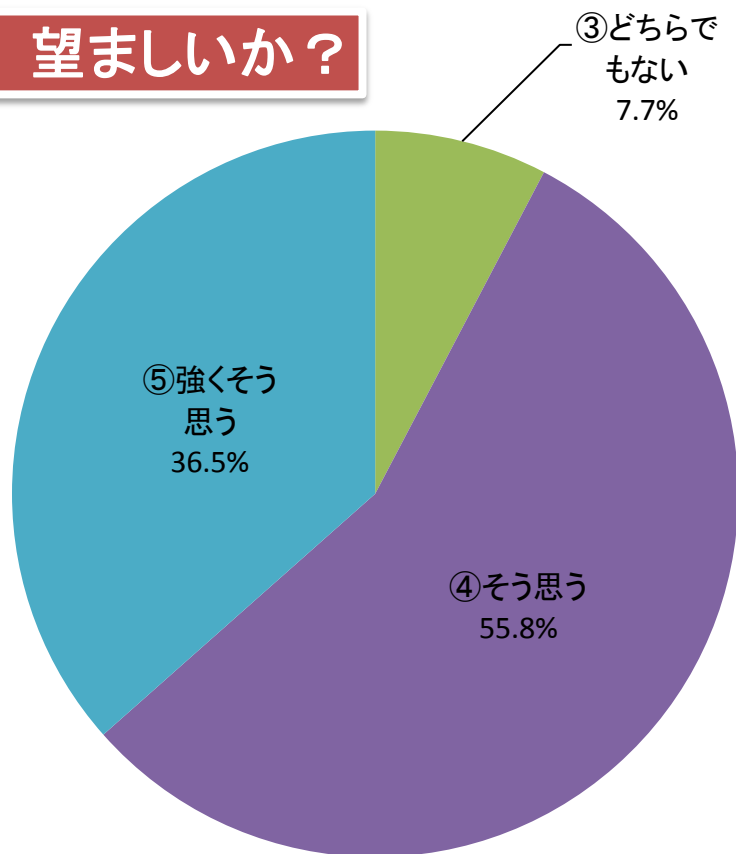
可能か？



- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

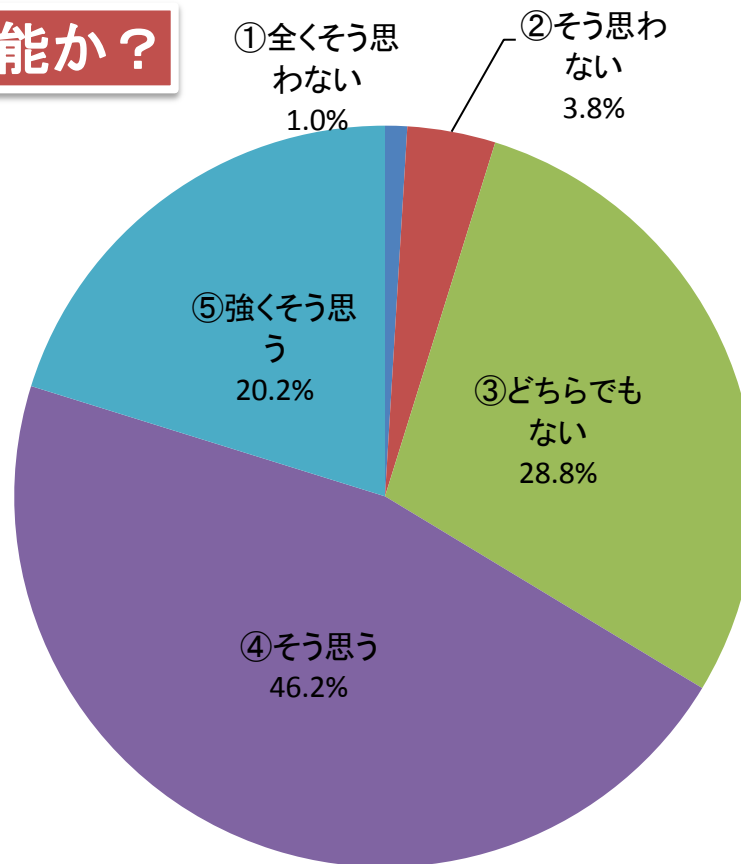
業務量が増加した同僚等への支援

望ましいか？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

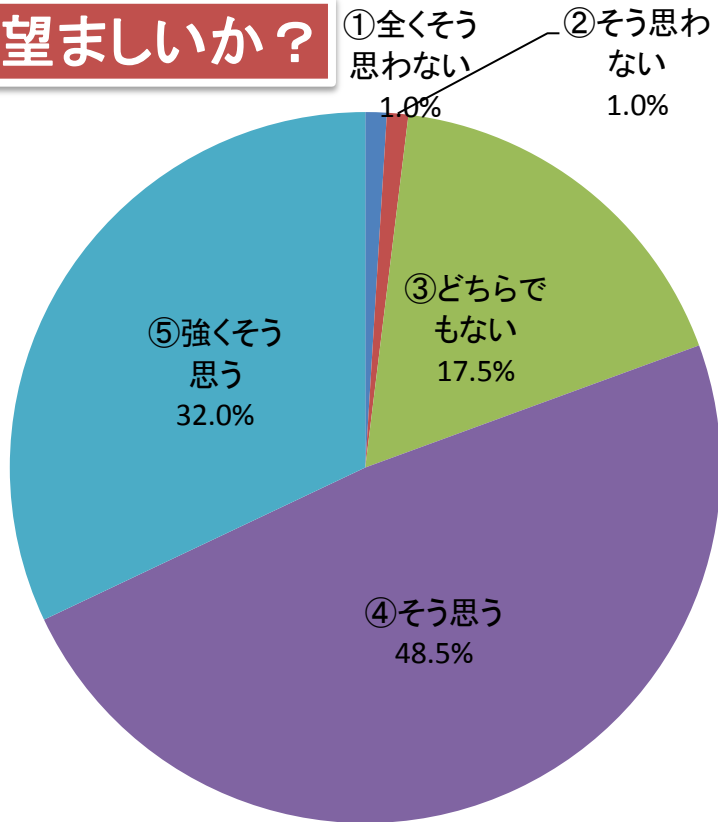
可能か？



- ①全くそう思わない
- ②そう思わない
- ③どちらでもない
- ④そう思う
- ⑤強くそう思う

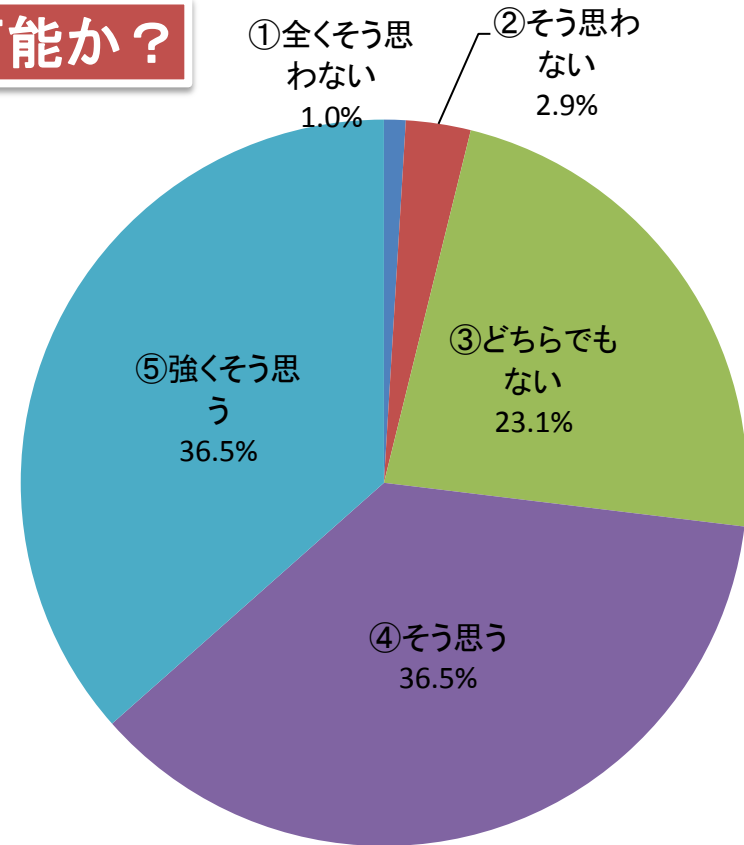
復職後、定期受診の確認

望ましいか？



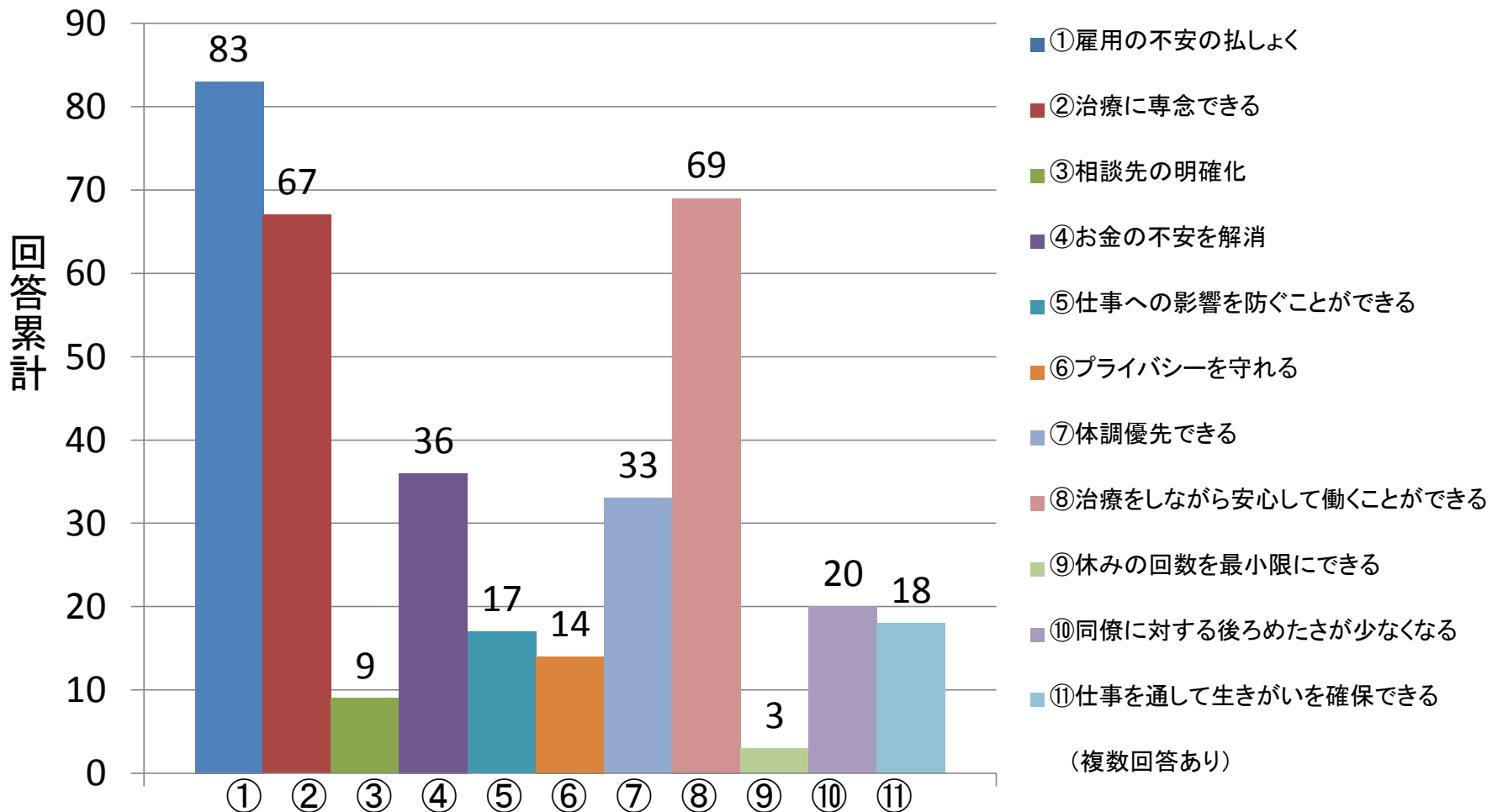
- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

可能か？

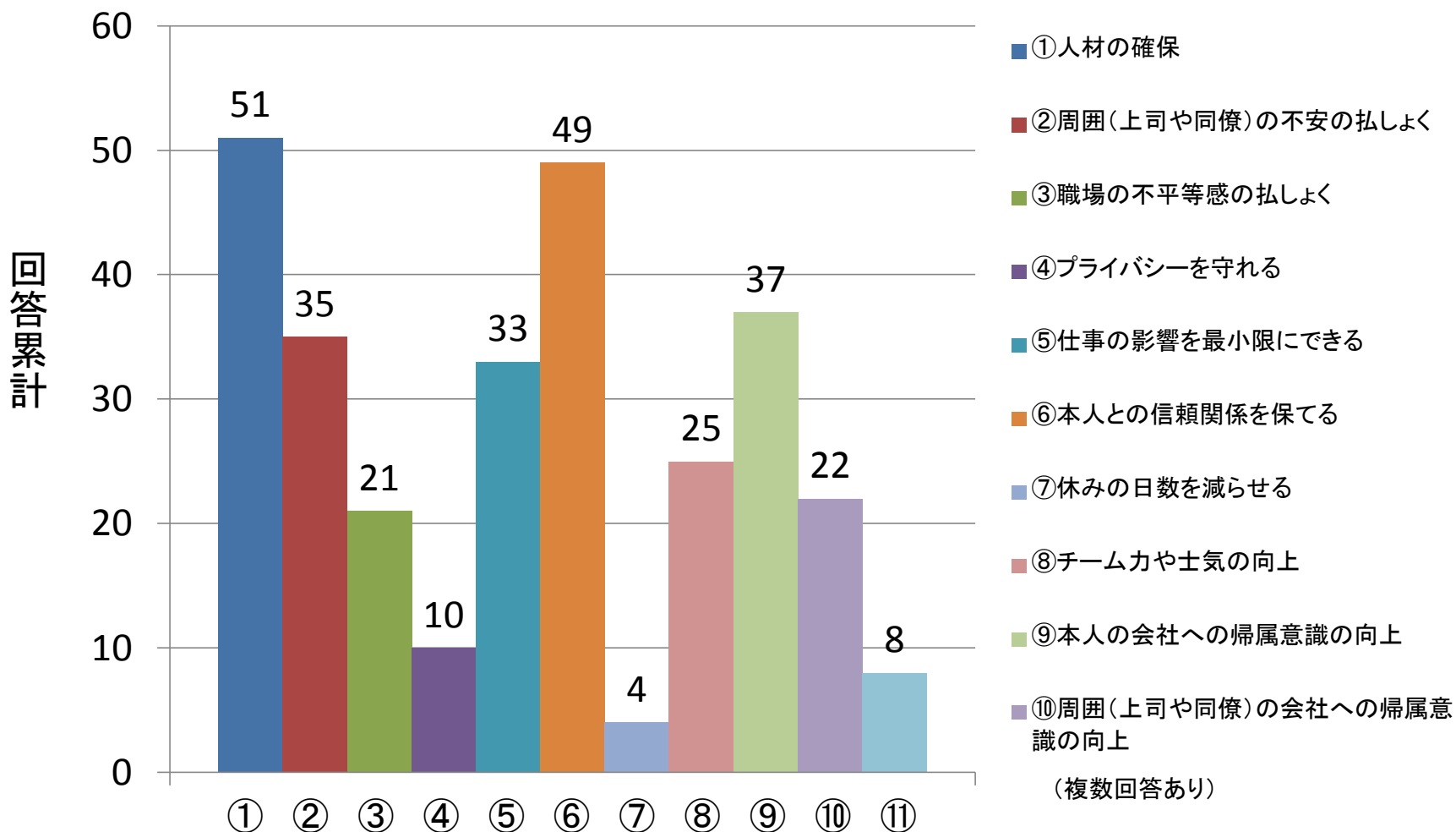


- ① 全くそう思わない
- ② そう思わない
- ③ どちらでもない
- ④ そう思う
- ⑤ 強くそう思う

企業の就業支援による「社員の利益」として重要なものは？



企業の就業支援による「企業の利益」として重要なものは？

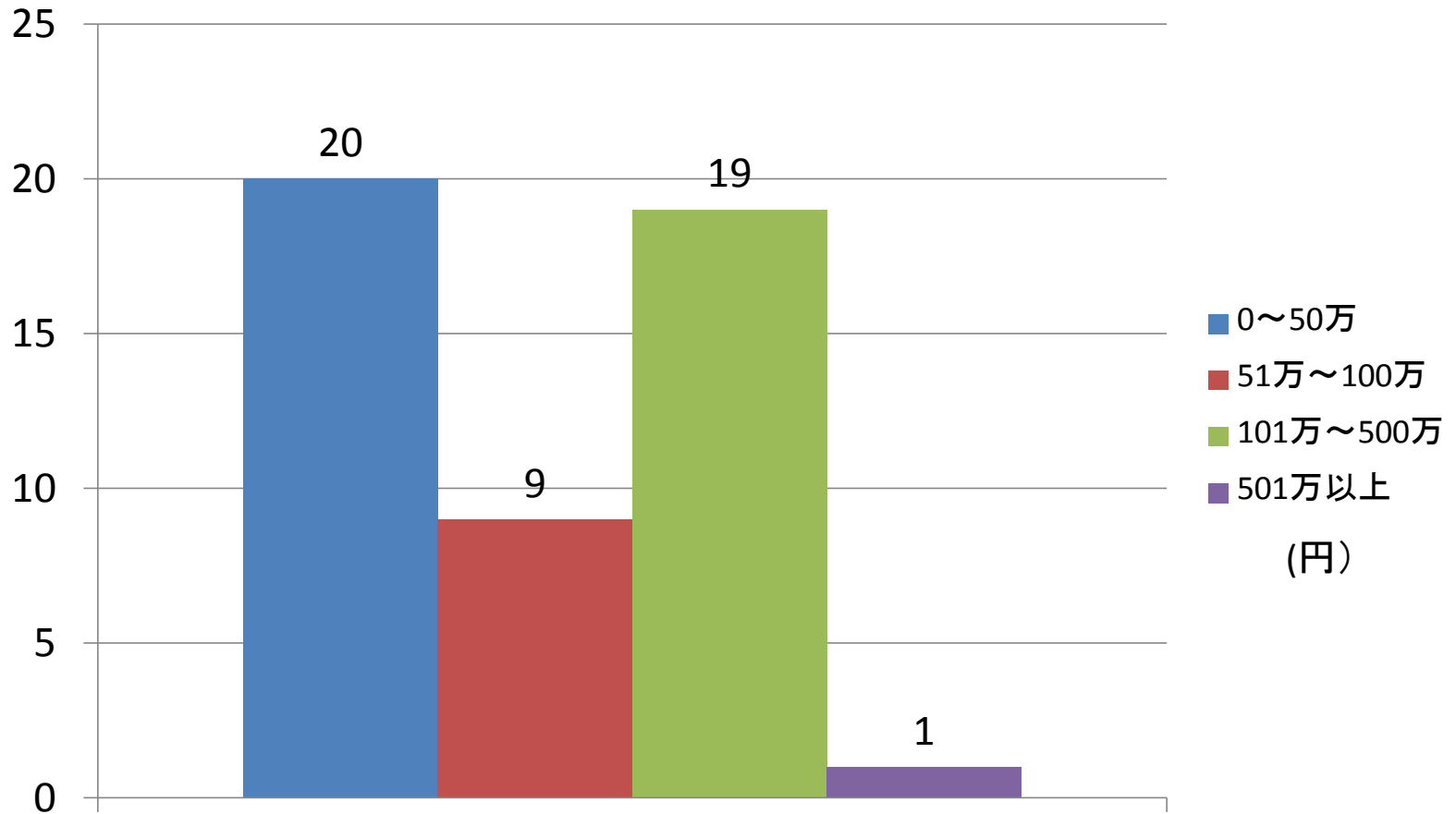


「社員・企業の利益」は貨幣価値にすると？

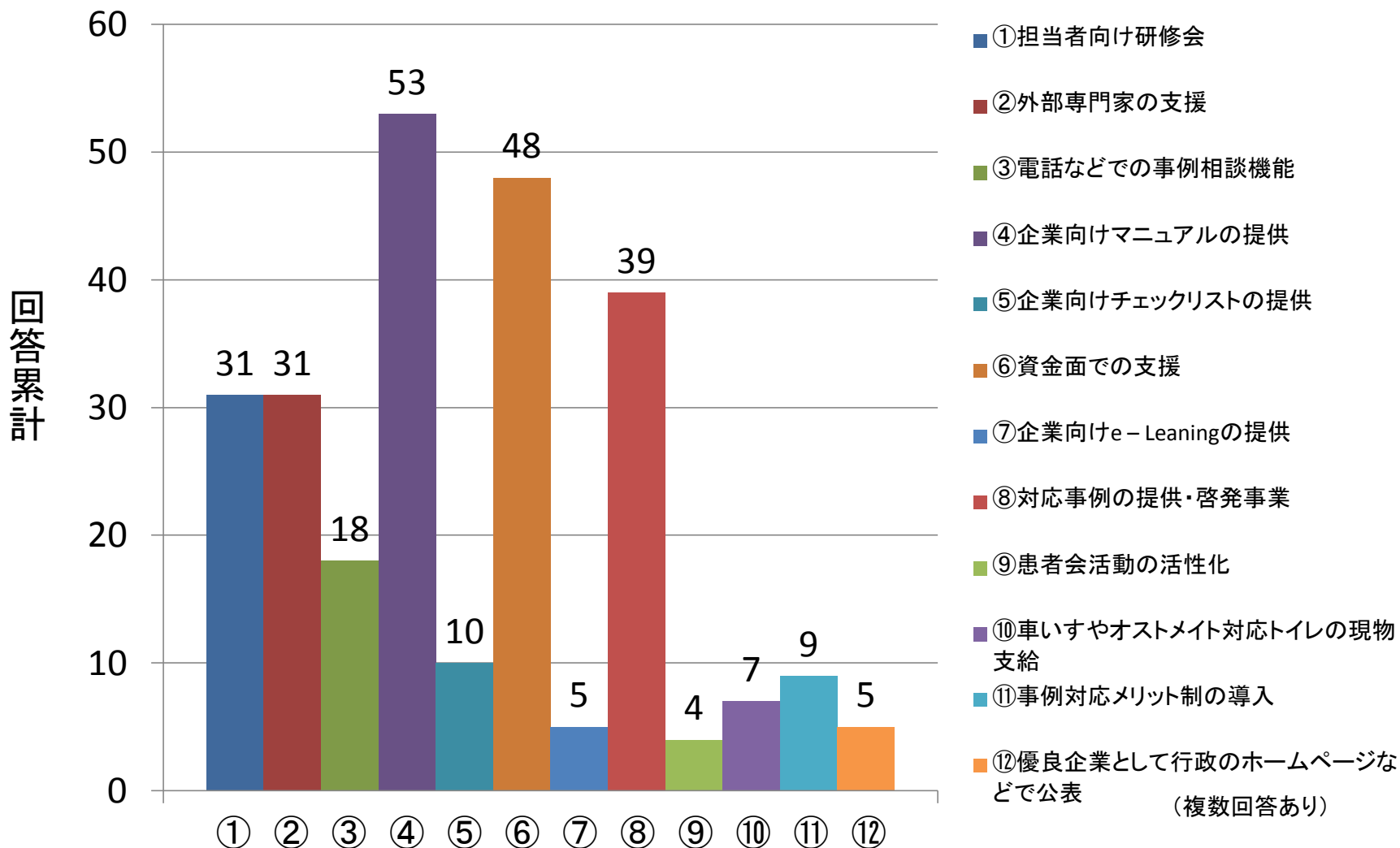
(企業として年間、1人あたり

いくら支払う価値があると思うか？)

回答累計



患者会や行政に期待する活動は？



自由記述

- 個人・家族の問題(告知等)のクリアと企業の姿勢は、両輪で考えなくてはいけない
- 事業場全体の体制を支援できる風土作りが大切。
それぞれの立場で、意識して連携することで支援につなげることが出来るのでは
- がん患者の入院治療及び通院治療中においては、人材増員等をせねばならない業務も有り、会社にとっては、患者を雇用している場合、負担となるため、助成金等の制度があれば良いと思う。
- 本人が「仕事を通して生きがいを確保できる」こと、
同時に「業務量が増加した同僚等」への影響を解消すること。

自由記述

- 企業ががん患者を支援・・・という切り分けで考えたことが無かった為、今回のアンケートに対しての回答がどの程度適切であるか分からないが、考えるきっかけを与えて下さったことに感謝申し上げます。ただ、やはり一般的にどのようなことを各企業でされているのか？など何を以て支援・利益というのかがピンとこない部分も有り
- 実績は無いが、いつ発生しても不思議ではない問題である。

今後について

- 詳細な解析を行い、業種や規模、支援経験の有無などに対応した支援の在り方を検討
- 行政など関係機関に結果を報告し、今後の対策に反映するよう働きかけ
- 患者側の意識調査を実施し、
企業と患者（＝労働者）双方にとってより良い支援を検討

ご協力いただきました今治、松山、大洲
各商工会議所のみなさま
ご回答いただきました事業所のみなさまに
心より感謝申し上げます。

この件についてのお問合せ

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会
担当 松本 080-3549-2327

m.yoko@k7.dion.ne.jp